

## 施設見学会



野生復帰の取り組み



コウノトリとは



カネカソーラーテック社の説明

電気設備関連施設や製造工場などの見学を通じて、最新の技術情報を習得するとともに、会員間の交流の促進を図ることを目的として、技術・安全委員会主催による施設見学会が11月6日（水）総勢26名の参加により開催されました。

今年度は次世代クリーンエネルギーの一つとして大きな期待を集めている太陽光エネルギーを活用する太陽電池の製造工場を見学・研修することを中心にコース立てをし、併せて人と自然の共生の象徴であるコウノトリの野生復帰の取り組みなどを学びました。

最初にコウノトリの野生復帰の拠点である兵庫県立コウノトリの郷公園を訪れ、これまでの野生復帰の取り組み経緯やコウノトリの生態、野生復帰の現状などのレクチャーを受け、公園前面の田んぼで餌をついばむコウノトリを目前にした会員からは感動の声があがりました。

次に、近接の豊岡中核工業団地の一角に位置するカネカソーラーテック株式会社・太陽電池製造工場を訪問しました。同社の社長様から直接「結晶系」と「アモルファス」の特長を併せ持つ「薄膜シリコンハイブリッド太陽電池」についての一連の製造工程や製品群などの説明を受け、実際の製造ラインの案内をいただきました。身近な太陽光パネルが、「このようにしてつくられているのか」という会員からの声があり、またお互いに名刺交換をする機会となりました。



太陽光パネル



製造ラインの見学へ



ミニバック作り体験

コースの最後には、豊岡市の地場産業であるかばんを展示販売する株式会社かばんの館を訪れ、ミニバック作りも体験しました。結構手の込む作業でしたが、会員は熱心に手作りに挑戦し、出来上がったかばんを前に、これはゴルフボール入れに良い、誰にあげようかななどのコメントが出て、楽しいひと時となりました。